
八月のフルーツパフェ

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

八月のフルーツパフェ

【Nコード】

N8273M

【作者名】

夢野ユーマ

【あらすじ】

歌集、四季の循環と恋心。

あなたと秋と（前書き）

こんばんは。皆さんにご迷惑をおかけし、ちょっと最近では活動を活発にやっていないのですが、比較的復刻しやすい歌集をちよつと復刻します。少し配列を編集しました。あまり焦らず、載せていきます。

あなたと秋と

「あなたからメールが届く真夜中に心は600kmを飛び越す」

「僕たちはみんな居場所を探してる時代の中で迷子になって」

「野良猫にエサをあげてる少年よ君もそんなに孤独なのかい？」

「あなたには隣で眠る人がいてそれは私じゃない秋の夜」

「あなたへの想いは一色だけじゃなくダークなシヨコラ、ミルクなシヨコラ」

「極上のワインを飲めるような夜、ユルスナールを読みふける夜」

「秋の空、夕暮れ時に眺めれば雲の横顔、赤らんでいく」

「夕焼けの朱に向かいて幾千の鳥が飛び立つ私の心」

「カミーユがロダンを愛す哀しさを抱きしめている純白のイヴ」

「愛すれば愛するほどに血を流す愛貫きし智恵子思ほゆ」

「悲しいね秋の素敵なた焼けを君が隣で見てないなんて」

「銀杏にも男と女があるんだよ。そんな言葉を思い出す秋」

「秋の果て散り残りたる朝顔の紫のような淡きはかなさ」

喪愛

「君が撮る恋愛映画のヒロインじゃなくて端役の私と気づく」

「思い出が甘い偽りだとしても今もあなたを愛しています」

「あなたには届かぬけれど愛してる『元気ですか？』も『愛してる意味』」

「あきらめる、また思い出す、あきらめる、寄せては返す『もうさよなら』」

「来む世には君と契らむ月の夜、金色の海、浮舟の中」

「優しくてちょっとズルいけどよく笑うあなたの全部大好きだった」

「もし君と逢えなかったらさよならもなかったけれど逢えてよかったよ」

「君がくれた恋も別れもいつまでも忘れぬだろう抱きしめたまま」

「冬の夜の全ての星を抱きしめて君を想えば溢れる涙」

「金色の嘘—っだけ大好きな君を自由にするための嘘」

「永遠のブラックボックス君の愛、重りをつけて海に沈める」

悲歌「えれぢい」

「ギリシアの映画観た夜、乗り込んだ電車はどこかセンチメンタル」

「七色のソーダを飲んでファミレスの片隅の我の中に虹あり」

「あの冬の道であなたがくれたのは小春日和の優しさだった」

「茜さす紫色の春物のセーターの袖ふる春よ来い」

「真冬、君にもう一度逢いたいと願う夜、せめて今だけ心を抱いて」

「憧れは恋にもなれず冬空で弾けて消えたシャボン玉だね」

「真夜中の一人ぼっちの帰り道琳派のような月が出ている」

「ストロベリーシヨオトケエキを好きなとき食べられるのはさみしい自由」

「冬薔薇一輪咲きてその下に悩みなげなる仔犬の遊び」

「雪月花、雪より淡く消えたのは幼い日々に関わしたちぎり」

「雪月花、月に心を映しては明日を夢見て夜道を歩く」

「雪月花、花吹雪舞う中を往く私の心の中に咲く花」「玄関を出る
時いつも励ましてくれる元気な冬のガーベラ」

「氷雨やみ光まぶしき冬空の虹は神様と交わす約束」

「冬の夜の三日月は星したがえて静かな街を見下ろしている」

「冬の陽は淡く世界を包みこみおもちゃのようなビルディングたち」

「海よりも哀しき陸に住み果てて空に向かって歌う悲歌」えれぢい
」

涙じゃ何にも片付かない

「白が全て覆い尽くしてくれるならば雪崩の来る日、膝抱きて待つ」

「イカロスの翼へし折る力もて何か殺して歩く夕暮れ」

「春を待つ心よ軽くなってゆけ切られた髪に分まで軽く」

「南天の実も気づかない想いあり心の底で忘れない人」

（山崎方代の歌「一つだけ本当の恋がありまして南天の実が知っております」へのアンサーソング）

「降り注ぐ優しい雨は口づけのようにつぼみの眠りを覚ます」

「真夜中の白木蓮の花びらは私の心のブランシュ・デュボア」

「春の嵐、愛の嵐と吹きにけり桜吹雪のリリアーナ・カバーニ」

「君がいたあの春も桜咲いていたプラットフォームに光が落ちて」

「ひとひらの花びらひらりひらり奇跡の海に浮く春の夢」

「チョコレートが欲しいのではなくチョコレートを入れる袋の虹の絵が好き」

「哀しくてさみしいけれどももう泣かない涙じゃ何にも片付かないか」

「生きてきて最近強くなったと思う可愛いだけじゃダメなのかしら」

裸足のシンデレラボーイ

「すごいもの見せてあげるよ100メートル裸足で走ってつけた傷痕」

「俺の学校ビリから二番めなんだってカッコいい子のいる確率が」

「ねえロミオお洒落なカップルばっかだね美大の地下のコーヒーストップ」

「『大丈夫？怖くなかった？』なんて百年早いわよ、字幕の漢字尋ねたくせに」

「『カオちゃんはおきやんで蓮葉なお転婆です』どうでもいい言葉だけ覚える」

「『カオちゃんが紫の上、俺、源氏』『役者不足よ、年も逆だし』」

「『ルッコラってとにかく何か野菜だろ』プチ意地悪で教えてあげない」

「『カオちゃんはバブルを知ってていいよねー』プチ意地悪で君が呟く」

「『作ってよ』君が言うから作ってる食べたくないけどソース焼きそば」

「真夜中のアイスオーレのフレーバー、帰るの遅くなってごめんね」

「大切なものはなくしてから気づくカフェから消えたペリエの小瓶」

「焼きたてのトーストにジュツとしみてゆくバターのようにとろける心」

「今日の午後、君が来るからワクワクとしてる苺のタルトと私」

さみしき海

「この生は前奏曲ちふ人ありて夕べに立てば心さびしも」

「コーヒーの香りもきつとサリンジャー。シーモア・グラスという喫茶店」

「君のため素敵なピアノコンチェルト書いちゃうぐらい恋をしてるよ」

「美しい人間が一番美しいドンドンガドンと太鼓をたたく」

「メロンパン持っていきなよおまじない、今日のラッキーアイテムなんだろ」

「睡蓮の夢を見ているのではなく、睡蓮が夢を見ている。私を世界を」

「平日の公園に人少なくて二人はスワンのボートに乗らず」

「さみしき海に地球が沈む夜、かけぬ受話器を抱きしめる夜」

「木か石に我はなりなむさみしさが臨界点をこえる夜更けに」

「さみしさを告げた翌日、聴きなよと渡されたのはスミスのCD」

「初夏の夕陽に魔法かけてみる、街を静かなダイヤモンドに」

「初夏の夕暮れセンチメンタルに街を染めてく思ひ出色に」

「空だけは忘れられない太陽よ月の光よ君の星座よ」

パレード

「ジャージばかり着ているのかと思ったよ。アメカジとっても似合うんだね」

「アメカジの少年たちに囲まれて君はいないか探した地下鉄」

「『俺たちは草食だよ』 『そうかなー』 二人の趣味はぴあを読むこと」

「『俺もそういう恋をしたから分かります！』 嘘つけ！ガキが！大人なめんな！」

「『俺にはねギフトがあるの』 バカヤロー！ぶん殴ってやる！ちょっと外出る！」

「君帰す駅で『サヨナラ』言った時、『サヨナラ』言わず済む日夢見た」

「どしゃ降りの雨の後には虹が出る君と二人で眺めに行こう」

「魔がさして一駅前で地下鉄を降りればアリスよりも冒険」

「君帰すさみしさを知る我なれど今日帰ることもさみしいと知る」

「カフェモカをこぼさぬようにそろそろと君の心に手をふれてみる」

「ほろ苦のチョコより苦い思い出も甘くなったの君とシールド」

「背伸びしてシールドを飲む君の背を抱きしめてみる大きいんだね」

「パレードは行くよ僕らのカラフルな時を通って季節の中を」

八月のフルーツパフェ

「八月のフルーツパフェのカラフルでポップな元気、君にあげるね」

「ジークフリート君のことだよ夏空に流すオペラを星くずにして」

「君だけを観客にして踊ってる夢のリンクのKiss & Cry」

「哀しみは汗で流してハフハフと食べる真夏の盛りカレー」

「Lサイズの紙コップ二つ夏休み、君と映画に行った思い出」

「残暑見舞い出しそびれつつ初秋の梨の甘さと後悔の味」

「永遠の祝祭の楽奏でつつたはぶれている青空と海」

「君のため切り分けられる運命の西瓜冷蔵庫でじろじろん」

「この世界が壊れてしまうその日まで隣にいてね手をつないでて」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家なるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8273m/>

八月のフルーツパフェ

2011年10月7日15時23分発行